



第59回

葉山写葉会

平成六年の冬、町教育委員会が開いた写真教室の修了生たちが集まり、写真同好会を立ち上げました。それが「葉山写葉会」です。

会員は、横須賀や鎌倉など町外からの参加者も含めて三二人。うち十一人が女性です。定年後の趣味にカメラを始めた人が多く、平均年齢は六五歳を超えますが、皆さん元気で明るく、いつも笑い声が絶えません。

活動の中心は、隔月で交互に開く写真撮影会と例会です。撮影会は、美しい風景や花などを求めて、県内外に出かけることが多く、会員にとっては大きな楽しみの一つ。この二月には富士五湖まで足をのびし、冠雪の富士山など、思い思いの被写体にカメラを向け、写真撮影を堪能してきました。

ここで撮った作品を持ち寄って開くのが、翌月の例会です。会員が持参した一人二点の自信作を、講師の先生が厳しく審査。そのうえで、一点一点に

ついて、アングルや遠近感など撮影上のアドバイスを与えてくれます。

昨年十月には、創立十周年を記念した写真展を町立図書館で開催。会場には風景、花、人物など、様々なテーマの「傑作」がズラリと並び、好評を博しました。現在、展示作品をCDにして、保存する作業も進行中です。

写葉会のモットーは、好きなもの好きに撮ること。そのため撮影会でも、一切テーマは決めず、モデルも使いません。「せっかくカメラが好きで集まったのだから、撮りたいものを自由に撮ればいい。うまい、下手は二の次です」と会長の高島巖さん。



葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎特選 *共選

◎栗色の「B.A.S.Q.E」の縫ひ取り父のベレー旅に忘れ早や十三回忌

渡辺 裕子

(評) 亡き父愛用の旅のベレー帽。スペイン一地方の名が遠い日の旅のイメージを膨ませ固有名詞の生きた一首。又今年の桜の歌三首揚げてみました。

米田 宮子

蜻蛉のご背にしがみつく若者のリュックサックにさがるひもも

柳沢 千雪

百歳の片岡球子の迫力に唯々驚く 疲れるほどに(葉山美術館展)

近藤 紘

飛び立ちし山鳩の影たちまちに見えぬがほどに木々は茂れり

柏木のぶ子

上げ潮を待ちてをるらし小魚はわづかばかりの堀川に泳ぐ

小峰 春光

菜種雨つづじの花の美しくわが狭庭こそ吾が憩いの場

山本 ふで

引越しを告げる隣人の引く犬は吾れを見ているじつと見ている

岩淵寿々子

横浜の桜見たくて晴れた午後フランス山の階段のぼる

鈴木 榮子

桜餅、よもぎ団子と貼り紙あり風に舞い散る花びらのなか

山岸由美子

花終えし若葉の桜静かなる風をいなしてゆつたりと立つ

俳句

浅井 一志 選

◎特選 *共選

◎馬酔木咲く湘子帰らぬ人となり

川崎 虎康

(評) 現俳壇の実力者であった藤田湘子氏(鷹)主宰が四月十五日に七九歳で逝去された。昭和十八年「馬酔木」に入会、水原秋櫻子に師事。「鷹」は昭和三九年七月に創刊、来年で五〇〇号を迎える。時恰も馬酔木の花が盛りの頃に帰らぬ人となった、故湘子氏へ捧げる追悼句である。

山田 潤二

(評) 蓬を茹でたものを搗き込んだ餅で飽を包んだものが蓬餅。真っ青な色と匂いに魅力がある。早春にこれが出回ると、働いた頃の懐かしさが込み上げてきて過ぎゆく歳月の早さに感動するのである。

山田 潤二

一湾の花菜明りに戻る船

安藤とみ子

些かの蔓覗かせて胡瓜苗

近藤 紘

*まんさくの咲いて雨意ある空模様

伊藤 青嵐

衣擦れの音して匂ふ白牡丹

片山 久女

ひと言のわび云ひそびれ花は葉に

新井かね子

◎馬酔木咲く湘子帰らぬ人となり

川崎 虎康

(評) 藤田湘子は、四月十五日に亡くなった。水原秋櫻子の弟子で、俳誌「鷹」の主宰者、現代俳句の担い手の一人。作者は馬酔木の花が咲いたことで亡くなった湘子を思ったのだらう。師の秋櫻子の主宰した俳誌が「馬酔木」であり、いまは彼岸の師のもとにあるであろうと。

熊本 京子

花冷えや交す言葉の短くて

熊本 京子

(評) この句、原句は「花冷えに交す言葉も短くて」であった。花冷えにといいると説明的。ここは「花冷えや」と切ることをすすむたい。

石川 光子

俳句の基本に切字があるが、切ることにより句のふところが深くなる。一句を読み終えてふたたび心は花冷えに返る。言葉は短ても通ず

海老原英子

鎌倉の花真盛り幾佛

新井かね子

この世とは輪廻転生花散りぬ

伊藤 青嵐

花は葉に託びひと言を云ひそびれ

山田 潤二

セーリング競技強化センター 認定通知式

葉山港が第29回オリンピック競技大会（2008年北京大会）終了時まで『セーリング競技強化センター』として引き続き認定され、4月15日に通知式が行なわれました。



ホールドファストベイ市紹介展

4月29日～5月3日に湘南国際村フェスティバル2005で国際姉妹都市ホールドファストベイ市紹介展が行なわれました。



潮干狩り

4月23日潮干狩りが町内各海岸で行なわれ、今年も朝から多くの人でにぎわいました。（人出は約5,000人）



◆高齢者用定期券 ふれあいパス

70歳以上の方が、京急の一般路線バス全線で自由に乗降できる定期券です。7月1日（金）～12月31日（土）（6ヶ月間）20,000円
年齢が確認できる書類と顔写真（横2.4cm×縦3.0cm）1枚を持って、京急バスの各営業所へ
☎873-5511逗子営業所・836-0836衣笠営業所

◆ゴミ減量推進フリーマーケット

6月4日（土）・5日（日）、7月2日（土）・3日（日）横須賀市役所前公園（町民出店料無料）出店を希望する個人・団体は往復ハガキで（詳細をお知らせします）。〒240-0115上山口1885 ☎878-7900木内（ゴミ減量推進国民の会）

◆デザインされた炭と苔玉・二人展

永平智子作の竹炭を使用したアクセサリ、墨絵と中野恵子作のオリジナル苔玉の二人展を開催します。6月4日（土）～26日（日）10時～18時（月曜、第2・4金曜は休み）ギャラリー蓮（一色1004-2）☎877-5715阪本

◆ふくしまつり

6月5日（日）10時30分～14時30分 逗子亀ヶ丘神社 フリーマーケット多数、福祉に

関する相談を受け付けます。☎872-3414 武藤（福祉クラブ生協逗子葉山家事介護ワーカーズよつ葉世話焼ワーカーズクローバ よつ葉事務所）

◆フリーマーケット出店者募集

第8回はやま環境フェスタ（6月12日（日）、順延19日（日））役場駐車場 出店料500円 希望者は往復ハガキに住所・氏名・電話番号を書いて役場環境課（〒240-0192・役場専用郵便番号）へ 7日（火）10時必着 同日役場3-1会議室で公開抽選（10時から）☎802-7786 藤澤

◆第18回葉山工芸美術展

6月10日（金）～12日（日）10時～16時（10日のみ13時から）福祉文化会館 ☎875-7664（葉山工芸美術家集団事務局）

◆定例ボランティア活動

6月11日（土）9時30分から 老人ホーム「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ ☎875-6734 大熊（ボランティア連絡協議会）

◆第16回墨心会展

水墨画の作品展示です。6月16日（木）～19日（日）10時～17時（16日のみ13時から）福祉文化会館 ☎875-8670長

◆子育て・子育てと「読むこと」

児童文学研究者で二児の父が実感的に語る子どもと本のかかわりについての講演会です。6月18日（土）13時30分から 逗子市商工会館 講師：宮川健郎さん ☎872-7253

e-mail:fwph2007@nifty.com 島村（逗子・葉山あかね色の空の会）

◆歌とおしゃべりの午後のひととき

バスバリトンのコンサートとペロ出しチョンマの歌い語りなど。7月2日（土）14時開演 逗子プラザさざなみホール 大人2,000円・学生1,000円 ☎875-9946佐々木

◆第30回葉山ふるさとひろば

10月15日（土）・16日（日）に開催する「第30回葉山ふるさとひろば」を記念して、皆が優しく歌えるテーマソングの歌詞を公募する予定です。詳細は広報7月号及び町内掲示板にて。☎876-1111内線374産業振興課内町観光協会

◆Y F U 49期交換留学高校生募集

世界各国のY F Uが選定するボランティア家庭にホームステイしながら、地元の公立高校に1年間通学し、ホストファミリー・友達とともに異文化生活体験をしてみませんか。☎878-8686亀井（Y F U国際交流財団）

◆葉っぱいKIDS新規会員募集

「みんなで子育て」をテーマに、グループ内外の親子を対象としてイベント等を企画運営しています。私達と一緒に楽しく活動しませんか？子育てに興味をお持ちの人なら、どなたでもどうぞ。☎875-5471金田

掲載を希望するときには、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課（☎内線333）へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。